

---

# クビになった男

三代渡吉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

クビになった男

### 【Nコード】

N9259E

### 【作者名】

三代渡吉

### 【あらすじ】

大手電気会社をクビになった男がいた。一体何が悪かったのか？

松中電気グループを退職することになった二人の男がいた。

元課長の下川<sup>しもかわ</sup>、そして係長の羽田<sup>はだ</sup>。

下川は、自分が勤めていた会社で背を向けながら頂垂れた。

自分の熱意を訴えて念願の就職を果たし、それから何年も忠誠を尽くしてきた

部下の羽田はそれに比べればまだ入社歴は浅いほうだが、決して出来ない人間ではなかった。

何故自分達は、会社を追い出されてしまったのか。

「課長」

「言うな。もう私は課長じゃない」

「下川さん……」

「ふう」

長年務めてきた会社をクビになったことは、想像以上に堪えてい  
るようだ。

羽田は、下川がクビになったことが解せなかった。今まであれほ  
ど会社に尽くしたのに……。

失礼と解りながらも、彼は聞いてみた。

「どうして、下川さんはクビに？」

「……そうだな。何が原因かと考えれば、商品説明会だろう」

「ああ、僕はいけませんでしたが。なにか失敗でも？」

フツと下川は笑った。

「私は完璧だった。全てにおいて抜かりがなかったはずだった。だ  
が上層部はお気に召さなかったようだ」

「下川さんが言うからには間違いはないはずです。話してください、  
どんな商品だったんですか？」

羽田がそう聞くと、下川は一呼吸おいてから、話し始めた。

「それは私の長年の夢だったのだ……」

自動ドアが開かなくて、頭をゴツンとぶついたり、ぶつけそうになったこと、ありますよね？

そこで紹介するのが、自動ドアさんとゴツンコくん！

もし自動ドアが開きにくいタイプでも、このゴツンコくんがいれば大丈夫！

あなたの代わりに自動ドアとゴツンコしてくれます！

人間と同じ骨格を持つうえに、身長170センチメートルだから、丁度良い高さでゴツンコしてくれるし、自動ドアのセンサーに見逃されることもありません！

ボタンを押して開く方式の、半自動ドアにも対応！ お客様の代わりにボタンを押して、扉との衝突を防ぎます！

これさえあれば、あなたの買い物ライフはきっと素敵なものになりますよ！

自動ドアさんとゴツンコくん！

今なら定価二七〇万でのご提供！ さあ、注文するなら今！

「ゴツンコくんの何が悪かったというんだ！ チクショー！」

「……会社は英断を下されたのかもしれない」

**（後書き）**

久しぶりにシンプル千文字以内。

その2とその3も考えたのですが、肝心の商品が思いつかずボツ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9259e/>

---

クビになった男

2011年1月25日02時31分発行